



日本聖公会  
大阪教区教務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第448号 2016年4月24日発行

「そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。」  
(ルカによる福音書24章8節)

皆様には、「あの時あの人のあの一言に救われた、あるいは生きる力を頂いた」という経験がおりになるのではないのでしょうか。

3月25日の朝日新聞の朝刊には、偶然でしょうか、「自



主教 アンデレ 磯 晴久

## 祝復活日 イエスの言葉は生きています

頁。

次のような内容でした。

「4年目の研修医〇さんは、小脳梗塞と認知症を併発し、茶色い涎を垂らして獣のように転げまわる86歳の男性患者Aさんの診療を担当することになった。最初貧乏くじを引いたと思った。ある日、診療会議で、Aさんに胃ろうを作るという話になり、〇医師は

時、言葉の訓練も兼ねてAさんに話しかけてみた。「Aさん、私は誰ですか」と思ってもみない答えが返ってきた。「：オレノ スキナヒト」私は胸がいつぱいになった。こんな風に言ってもらえる医療がある。それから7年、田舎の小規模病院で高齢者の医療を担当している。また誰かのスキナヒトになりたいと願

分を生かしてくれたことばがいくつか紹介されています。その一つに、鷺田清一氏の「折々のことば」オレノスキナヒト」がありました。

この言葉の典故も書いてあったので、もう少し詳しく知りたいと思い、早速本を購入して読んでみました(永田久美子監修「私の声が見えていますか。―認知症の人たちの小さくて大きなひと言」92〜93

異議を唱えた。私たちは患者さんの嚔下機能再獲得のために手を尽くしただろうかと疑問に思ったからだ。それから〇医師とAさんの奮闘が始まった。看護師、管理栄養士、

：すべての職種に教えを乞い、Aさんと向き合った。Aさんの目は少しずつ輝きを取り戻し、数週間後、全粥と刻んでとろみをつけた食事を食べられるまで回復した。ある

いながら——わたしは、人は思いがけない言葉に生かされながら生きていくのだと感動を覚えました。

復活の朝、イエスの遺体が消えた空虚な墓の前で、イエスの弟子の女性たちが果敢とたたずんでいます。(ルカ24:1)そして、女性たちは輝く衣を着た2人の人から、「イエスは復活された」

という知らせを聞き、衝撃を受けました。イエス復活の知らせに、女性たちや弟子たちの間に、混乱、動揺、疑心が生じている様子が生き生きと記されています。わたしたちは、「イエス・キリストはわたしたちのために十字架につかれ、復活された救い主である」と信じています。このルカの記事の行間には、十字架上で無残な非業の死を遂げたイエスが救い主であるという信仰に至るまで、女性たちや弟子たちがどれほどの混乱や動揺、疑心、葛藤、精神的苦闘を乗り越えたかが隠されています。

女性たちは、輝く人から「イエスがお話しになったことを思い出さない。」(6節)と言われ、「イエスの言葉を思い出し」ました(8節)。初代教会の人々が、イエスの受難をめぐる様々な葛藤の中で気づいたのは、イエスの言葉は生きていくことだったのです。生前のイエスから聞いた言葉が、生き生きと弟子たちの心に浮かび、彼女らの心を生かす言葉になっていきます。イエスの言葉

(次頁4段目につづく)

# 第116(臨時)教区会「2015年度会計決算」等を承認

## 京都教区教役者・代議員ら27人も傍聴

前年度の教区会計に関する決算を(11月の定期教区会を待たず)より適時に審議し確定するため、ちょうど10年前から毎年、定期的に開かれている臨時教区会が、去る3月20日(日)午後、主教座聖堂(川口基督教会)礼拝堂で開催された。今年も定石どおりの議案の他に2つの議案が加わり、下記4議案が提出され、いずれも原案どおり承認された。

《議案第1号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①収入は、予算総額4,200万円のところ実績42,440,370円と予算を44万円余上回った。

ただし、この予算の収入総額の中には当初より「特別積立金」から取り崩された173万円が含まれている(単年度に見込まれた収入だけでは予算支出額を賄えなかった。一方、収入において実績が予算を特に大きく上回った科目は「臨時献金」で、50万円余超。

これは、主教座聖堂で行われている、毎月(原則第2水曜日)の教区関係教役者逝去記念聖餐式の信施や記念・感謝献金と、祝日の聖餐式における信施等で、予算60万円に対し実際には110万円余が献げられた。他は、「堅信式信施金」が予算95万円のところ実績90万円余で5万円弱のマイナス。そして、収入の大半を占める

(2015年度は90%余)「各教会教区費分担金」は予算どおり3,800万円が満たされた。

②支出は、予算総額4,200万円に対し実績38,848,110円で315万円余予算を下回った。

これは予算に対し、「職員俸給」(72万円弱増/8月以降、ウイルソン司祭の当教区転入・勤務に伴う俸給を含む)、「委員会等」「交通費」(40万円余増/2015年度は例年と異なり、下半期分を年度内に計上済)、「職員交通費」(15万円弱増)、「教役者移転費」(14万円弱増)等が予算を上回ったものの、「牧会補助金」(140万円弱減)、「年金厚生費」(41万円余減)、「社会保険料」(20万円余減)、「教区館費」(12万円余減)、「教務局費」(11万円余減)などが軒並み、予算を相当額下回ったことによる。また、その

結果、おもに、新・教区主教(磯主教)の按手・就任式等の備えとして設けられた「予備費」の217万円余については使わずに済んだ。

こうして、実績としての収支は、決算の結果、359万2260円の余剰金を生じた。単年度の収支では、「特別積立金取崩し」の173万円を差し引いた186万円余のプラスとなった。

《議案第2号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①2015年度一般会計収支余剰金359万2260円は「特別積立金」に繰り入れられることになった。

《議案第3号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①今春の人事異動に伴う会計状況の変化に対応して、昨年11月の第115(定期)教区会で成立した2016年度一般会計予算を見直し、補正予算を立てるべくその案が提出され、承認された。結果的に予算総額の相当な増額を内容とするもので、当初予算の4,000万円が補正予算では4,300万円に引き上げられた。しかし、増額分の300万円は、「各教会教区費分担金」の増額にはよらず、教区会計の「特別積立金取崩し」によって賄われる。その額は、当初予算の60万円が、補正予算

司祭 古澤秀利

※書記 司祭 千松清美

(1)議案第1号 2015年度 日本聖公会大阪教区会計決算承認の件

(2)議案第2号 2015年度 日本聖公会大阪教区一般会計収支余剰金処理の件

(3)議案第3号 2016年度 日本聖公会大阪教区一般会計補正予算(案)承認の件

(4)議案第4号 不動産売却却承認の件

(前頁よりつづく)

りました。生前聞いたイエスの言葉が、彼らの心に思い出され、彼らを生かすことになっていきます。

「わたしは良い羊飼いであります。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」(ヨハネ10:11)

「わたしは生きています」という気づきから始まりました。わたしたちもイエスの言葉とさらに親しくしながら歩んで参りましょう。

(いそ はるひさ・教区主教)

結果、おもに、新・教区主教(磯主教)の按手・就任式等の備えとして設けられた「予備費」の217万円余については使わずに済んだ。

こうして、実績としての収支は、決算の結果、359万2260円の余剰金を生じた。単年度の収支では、「特別積立金取崩し」の173万円を差し引いた186万円余のプラスとなった。

《議案第2号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①2015年度一般会計収支余剰金359万2260円は「特別積立金」に繰り入れられることになった。

《議案第3号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①今春の人事異動に伴う会計状況の変化に対応して、昨年11月の第115(定期)教区会

で成立した2016年度一般会計予算を見直し、補正予算を立てるべくその案が提出され、承認された。結果的に予算総額の相当な増額を内容とするもので、当初予算の4,000万円が補正予算では4,300万円に引き上げられた。しかし、増額分の300万円は、「各教会教区費分担金」の増額にはよらず、教区会計の「特別積立金取崩し」によって賄われる。その額は、当初予算の60万円が、補正予算

《議案第3号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①今春の人事異動に伴う会計状況の変化に対応して、昨年11月の第115(定期)教区会

で成立した2016年度一般会計予算を見直し、補正予算を立てるべくその案が提出され、承認された。結果的に予算総額の相当な増額を内容とするもので、当初予算の4,000万円が補正予算では4,300万円に引き上げられた。しかし、増額分の300万円は、「各教会教区費分担金」の増額にはよらず、教区会計の「特別積立金取崩し」によって賄われる。その額は、当初予算の60万円が、補正予算

《議案第3号について》提出者：教務局総務部財務委員会

①今春の人事異動に伴う会計状況の変化に対応して、昨年11月の第115(定期)教区会

で成立した2016年度一般会計予算を見直し、補正予算を立てるべくその案が提出され、承認された。結果的に予算総額の相当な増額を内容とするもので、当初予算の4,000万円が補正予算では4,300万円に引き上げられた。しかし、増額分の300万円は、「各教会教区費分担金」の増額にはよらず、教区会計の「特別積立金取崩し」によって賄われる。その額は、当初予算の60万円が、補正予算

(次頁4段目につづく)



# 教区会後に「宣教懇談会」開かれる

## 大阪・京都教区合併に関し、経過報告と問題点の説明

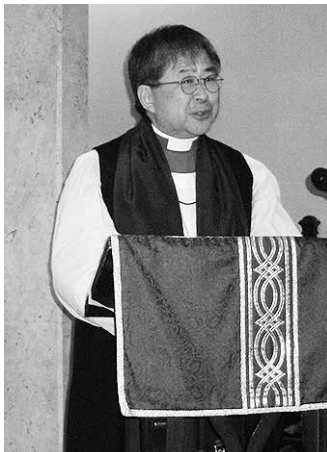
教区会終了後、休憩に続いて4時15分から、「大阪・京都教区合併に関する懇談会」が礼拝堂で開かれ、京都教区の教区議員・代議員有志27人が同席するなか、合併問題の現況が報告された。

「推進する委員会」の岩城聰司祭から今までの流れの概要と、現在ネックとなっている4つの事案が説明された。

## 東日本大震災5周年記念礼拝

アグネス 上床 益代

去る3月11日(金)午後6時から、教区宣教部礼拝・音楽委員会主催による東日本大震災5周年記念の夕の礼拝が、司式・内田望司祭、説教・磯晴久主教により、大阪聖パウロ教会で執り行われた。出席



者45人。地震と共に襲ってきた大津波により、福島、宮城、岩手の特に沿岸部に多大の被害をもたらし。当時のテレビ放映で、多くの人家、公共施設、人や車があつという間に波に呑み込まれ、激しい勢いで沖に流されていった様子は、今も脳裏に焼きついている。多くの死者、行方不明者を出し、家を失った人々が5年経った今も仮設住宅で不自由な生活を営んでおられる。

(前頁よりつづく)

では360万円になった。

②当初予算に比べ補正予算で相当額の増額を必要とする支出項目は、牧会補助金(600万円/300万円増)、教務局費(230万円/30万円増)、教役者移転費(120万円/30万円増)。なお、以上3項目の増額に伴い、予備費は60万円減額されて329,000円となった。

### 《議案第4号について》提出者：常置委員会

①故・久野利子姉(堺聖テモテ教会信徒)から教区に遺贈された、堺市中百舌鳥本町の土地(宅地) 142・20㎡

また、原子力発電所事故による放射能汚染で、土地や農地を失い、住み慣れた家を離れて避難生活を余儀なくされている人々の苦悩を思う。天災は、神から与えられた試練なのだろうか。いつ起こるかかもしれない災害に対する対応策を日頃から考える必要があると思う。

災害に遭われた方々が、一日も早く元通りの生活に戻ることが出来るように祈り、援

と建物(居宅・車庫)を、高石市の宅地建物取引業・建設業者に売却することが承認された。売却金額は760万円。

②教区に対する久野姉の資産(土地・建物と現金) 遺贈については、昨年11月の第115(定期)教区会で議案第4号が可決されたことにより、「感謝をもって受け入れ」ることが承認されている。なお、現金については、総額1,100万円余が遺贈され、そのうち「特定資産保守引当金」に700万円、「災害緊急支援資金」に300万円、海外宣教資金に140,6675円がそれぞれすでに繰り入れられた。

助を行うことが大切だと思ふ。3月11日現在、死者15,849人、行方不明者2,561人(新聞より)。死者の方々の魂の平安を祈ると共に、行方不明者の方々が一日も早く発見されることを祈念します。席上献金44,000円は、小名浜聖テモテ幼稚園の園児のための室内遊具購入のためにお献げした。(うわとこ まずよ・大阪聖パウロ教会信徒)



# 台湾聖公会 (米国聖公会第四管区 台湾教区) 教区会

## 大阪から訪問団が参加し、主にある交わりを再確認

主教 アンデレ 磯 晴久

見よ、兄弟が共に座っている。何という恵み、なんとという喜び。 詩編133…1

賴榮信<sup>ライロン</sup>主教から台湾聖公会教区会参加へのお招きを頂き、去る3月2日(水)から5日



(土)まで、日本聖公会大阪教区聖職・信徒を中心に、私を含めて17人が台湾を訪問しました。3月4日には賴主教をはじめ台湾聖公会の愛する兄弟姉妹と、教区会という大切な場で、詩編133…1のように、お会いし、共に座ることができると、神様から頂きました。そして教区会に先立つ聖餐式の中で、去る2月6日に発生した台湾南部地震被災者へのお見舞いを申し上げ、大阪教区からの献金50万円を賴主教にお渡ししました。台湾聖公会と大阪教区の主にある交わりは、2005年10月16日大阪教区礼拝において、宣教協働関係が正式に締結された時に始まり、今年で11年目となります。宣教協働は1期3年、4期目に入っております。その間、両教区の聖職・信徒の相互訪問、台湾

聖公会幼稚園関係者の日本訪問、両教区の代構表の交換などが実現しております。

今回の訪問では、淡水や九折などの観光の時間もありましたが、何より一番新しい基督堂をはじめ聖ヨハネ科学技術大学降臨堂、牧愛堂、聖ヨハネ主教座聖堂や付属の幼稚

### 台湾訪問団

### 2つの教会で 熱い感動に満たされる

司祭 ジョイ 千松 清美

このたびは、教区会へお招きくださり感謝申し上げます。また、私たちを受け入れてくださったため、賴榮信主教様はじめ、多くの方が尽力してくださったことも感謝いたします。

牧愛堂での開会聖餐式、Mellow Field Hotelでの昼食と教区会は、台湾聖公会の皆様丁寧さと熱心さの対応を垣間見させてもらい、大変感動しました。

今回、私は初めて台湾



園訪問という交流の時間が多く取られました。台湾聖公会では、ここ数年新しい教会や若い聖職が次々と誕生しており、大学のチャペル活動も盛んで、そこに集う青年たちから若い聖職が誕生していると感じました。私たち大阪教区は台湾聖公会から学ぶことが

沢山あると感じた旅でした。また、教区会の中で、李鎮丞司祭がこの4月中頃から3カ月間、大阪教区で研修するという人事交流のプログラムがサプライズとして発表されました。心から歓迎申し上げます。 (いそ はるひさ・教区主教)

感じっぱいに過ごすことができました。それほど、皆様のケアが行き届いていたのと、神様がすべてを良しとしてお守りくださっていたのだと思います。

私がこの訪問で印象に残ったことは、2つの教会を訪問したこと。一つ目は中壠の基督堂です。若い女性の熱い宣教の思いから教会が始まり、現在も子どもや青年の集いを大切にしながら、若い世代の家族が交わりを大切に、お互いの信仰を深めていることを伺い、私の心も熱く燃える思いがしました。二つ目は聖ヨハネ科学技術大学のチャペルである降臨堂です。とくに建物が深い意味をもって建てられていることに感動しました (次頁3段目につづく)



## 2度目の台湾旅行

### 言葉は通じなくても、 つながる喜び

カタリナ 三宅 享子

主の平和  
思いの外、2度目の台湾旅行に行くことが出来ました。

私にとって夢のようで、神さまに心からの感謝を申し上げます。台湾聖公会の頼主教様はじめ、ご夫人、司祭様、信徒の皆様、かわいらしい園児

の皆様の優しく、親切なおもてなしに心から感謝を申し上げます。

台湾聖公会の若い方々が、希望と恵みに満ち豊かな信仰の道を歩んでいらっしやることに感動しています。今回の体験で、皆様のおもてなしの心と親切、優しさで、言葉が通じなくても繋がりあえる喜びを感じました。頼主教様に何度も暖かい握手をしていただいたことは、終生忘れることができませぬ。

繋がりが一つになり、支え合い、話し合い、少しでも多くの方々、国々との交わりができるように祈りあうことの大切さを思いました。イエス様を通して共にある喜びを感じたいです。神様の恵みと御守りが豊かにありますようにお祈りいたします。

(みやけ きょうこ・石橋聖トマス教会信徒)

(前頁よりつづく)

した。洗礼盤から聖卓に延びる床に「道路・真理・生命」と書かれ、説明が終わった後、人々がその上を踏んで出ていくところを見て、ここはイエス様の御跡に従っていく信仰者の道になっていると思えました。また、天上のステンドグラスから聖卓へ伸びる梯子が、祭色に合わせて光を放っている様子は、まさに三位一体の神様が降臨して私たちを満たしてくださるのだと、とても理解しやすく、受け入れやすい目に見える象徴だと思いました。

後日、岩城聰司祭にお会いした時、「行ってみないと分からないことが沢山あったでしょう」と言われ、「その通りでした！なぜ、これまで台湾聖公会を訪問しなかったのか、不思議です」と答えました。私は必ず次の訪問があると確信し、熱い信仰の感動を受け取らせていただきに、また皆様にお会いしたいと願っています。主の平和とともに。  
(せんまつ きよみ・石橋聖トマス教会牧師、庄内キリスト教会管理牧師)

## 2016 教会音楽祭 in おおさか 合唱メンバー募集

日時 2016年 6月11日(土) 午後2時~4時  
場所 カトリック阿倍野教会  
(大阪市阿倍野区松崎町3丁目6番25号)

### 《練習スケジュール》

5月21日(土) 10時半~12時 川口基督教会会館3階  
6月11日(土) 11時~12時(集合10:45) カトリック阿倍野教会  
音楽祭当日は、会場のカトリック阿倍野教会で練習します。

《曲目》 聖歌 第374番 心の扉をひらくと(4声)1、2、3節  
第243番 神の約束果たされるまで(ユニゾン)1、2、4節  
第555番 時を超え(4声)1、3、5節

《参加申込み》 申込み書に必要事項を記入し、教区事務所までFAX、または郵送でお申込みください。切：4月30日(土)  
主催：聖霊降臨日前夕の礼拝実行委員会  
担当：大阪教区宣教部礼拝・音楽委員会  
問い合わせ：司祭 テモテ 内田 望 (TEL 072-261-2015)

## ペンテコステギフト

第10回 聖霊降臨日前夕の礼拝

日時 5月14日(土) 17:00-18:00  
場所 日本聖公会 川口基督教会  
(大阪教区主教座聖堂)

説教 前田 万葉 大司教 (カトリック大阪大司教区)  
司式 井上 隆晶 牧師 (日本基督教団)  
吉岡 秀紀 司祭 (カトリック大阪大司教区)  
内田 望 司祭 (日本聖公会)  
松本 義宣 牧師 (日本福音ルーテル教会)

主催：聖霊降臨日前夕の礼拝実行委員会  
後援：大阪キリスト教連合会

アングリカン・コミュニオン「宣教の5指標」③

新しく信仰者となった人を教え、洗礼を授け、養い育てること  
— 行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい —

司祭 ジョイ 千松 清美

「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。」(マタイによる福音書28章19〜20a節)

このイエス様の言葉から考えると、新しく信仰に入った人が、その人たちの信仰と理解のもとで成長を促すことは、教会の大切な使命であると考えられます。しかし、多くの教会の信徒は、一週間のうち日曜日の説教だけが、唯一キリスト教的な教えに触れていることになっているのが現状かもしれません。本来は、様々な方法で新しいことを学ぶ機会はあるはずですが。たとえば、小さな子どもたちや中高生たちが、キリスト教の教えを学ぶのに必要な独創的で、創作的な多くの方法について

考えることができると思います。皆様洗礼を受ける決心をした頃のこと、あるいは聖書の弟子たちのようになるにはどうすれば良いのだろうか、と、真剣に探り始めた時のことを思い出してみてください。その時、どんなことがその決心や探究のために助けになったでしょうか。また逆に、どんなことが理解や探究心の邪魔になったのでしょうか。

この問いを考えながら、ルカによる福音書24章13節〜27節を読んでください。エルサレムから12kmほど離れたエマオへ向かう道の途中で、2人の弟子が復活されたイエス様に出会う場面が描かれています。2人の弟子達は、イエスの墓が空っぽであったことや御使いが告げた内容を全く理解できずに困惑し、イエス様の十字架の死によって、自分たちを解放してくれるという

希望が無くなってしまったことへの悲しみに満ちていました。彼らは、復活のイエス様が近づいてもイエス様だと気づけないほど、失望と困惑でいっぱいでした。

では、このように大変な混乱の中にある彼らに、イエス様はどのような助け舟を出されたのでしょうか。それは、「モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり」メシアについて書かれていることを彼らに説明されたということです。十字架によるイエス様の死は神の計画であり、すべての人々を解放するため

たちのように、わたしたちも時に困惑と混乱を感じることもあると思います。新しく信仰生活に入られた方はなおさらのことでしょう。信仰は、頭の知識だけで成り立つものではなく、何かそれ以上のことであると思います。しかし、ここではイエス様が困惑する弟子たちに聖書を通して教え導かれたことに着目していただきたいと思えます。

教会は、新しく信仰に入った人をイエス様がなさったように聖書から導き支え、さらにその上で自らの信仰を試行錯誤するようにして、互いに信仰者としての歩みを分かち合うことが大切です。わたしたちは教会を築き上げるために、わたしたち自身をイエス様に近づけて行く努力が必要です。聖書の学びもそのひとつでしょう。それを通して、新しくキリスト者と

なった人々の信仰が高められることでしょう。(せんまつ きよみ・石橋聖 トマス教会牧師、庄内キリスト教会管理牧師)

第22回 関西 JOCS バザー

使用済みの切手を持ってバザーに行こう！

日時 2016年 5月14日(土)  
午前11時〜午後3時

会場 大阪聖パウロ教会

連絡先 06-6359-7277



シリーズ 聖公会関連施設紹介 ⑨



（公益財団法人）  
聖バルナバ病院

理事長 小澤 淑郎

当院は現在、大阪市天王寺区細工谷にあり1873年にアメリカ聖公会の宣教師ヘンリー・ラング博士により川口居留地で創立以来、「慰めと癒し」の精神に基づき「母と子と女性のための病院」と

して143年の歴史がある。2012年に大阪府より公益財団法人として認定を受け、産科・小児科が密に連携し分娩数では大阪府下で常に上位を占め、関西の産婦人科病院として名高い。

「多くの患者が博士の医療技術に魅了され、体と同様、魂の癒しを見いだしていた」  
— 2005年に病院の建て替え時、基盤石から1917年以前の診療状況を記した英文レターが発見されたが、当時の様子が蘇るようで改めて医療の原点に立ち返った気がした。  
2012年10月にはラング博士の子孫がアメリカから来日、病院を訪れた。



「多くの患者が博士の医療技術に魅了され、体と同様、魂の癒しを見いだしていた」  
— 2005年に病院の建て替え時、基盤石から1917年以前の診療状況を記した英文レターが発見されたが、当時の様子が蘇るようで改めて医療の原点に立ち返った気がした。  
2012年10月にはラング博士の子孫がアメリカから来日、病院を訪れた。

「多くの患者が博士の医療技術に魅了され、体と同様、魂の癒しを見いだしていた」  
— 2005年に病院の建て替え時、基盤石から1917年以前の診療状況を記した英文レターが発見されたが、当時の様子が蘇るようで改めて医療の原点に立ち返った気がした。  
2012年10月にはラング博士の子孫がアメリカから来日、病院を訪れた。



お支えください、お祈りください

先日、三光塾「母子生活支援センター」ファミリエヒカリの祝別式・竣工式が行われました。思いがけない離別を経験し、貧困、精神的問題等を抱えたお母さん

人が、社会のあらゆる所で増加しています。私は式に参加しながら、もう一つのことを考えていました。こうした母子を支援する人・施設が必要であると同時に、支援者を支える人たちがもまた沢山必要

支える、育てる、癒す、あるいは仕える仕事には、それを支える人たちが沢山必要なのです。大阪教区には、社会福祉施設、保育園、幼稚園、地域活動センター、学校、病院があります。そして教会と牧師。どうぞ支える輪、祈りの輪を忘れずにお願いたします。

果てること、壁にぶつかること  
もありましょう。

2016年 信徒の学び 出張講座

神とともに歩む一年間  
～教会暦と聖歌～

5月29日(日) 13時半～15時半(受付13時～)  
大阪聖パウロ教会 Tel 06-6371-0170

6月26日(日) 13時半～15時半(受付13時～)  
大阪聖アンデレ教会 Tel 06-6628-4757

7月24日(日) 13時半～15時半(受付13時～)  
芦屋聖マルコ教会 Tel 0797-22-5504

参加費無料

(持ち物) 祈祷書、聖歌集 講師: 内田 望司祭、辻 彩乃

講座終了後、お茶の用意があります。

お時間のある方は、交わりの時をどうぞ!

事前の申し込みは必要ありません。3回とも同じ内容です。

主催: 大阪教区宣教部礼拝・音楽委員会

お問い合わせ: 大阪教区事務所 Tel 06-6621-2179



大阪教区会  
大 阪 教 区 会  
大 阪 教 区 会  
大 阪 教 区 会

ACWCJ 関西支部一日研修会と世界祈禱日

超教派の集い、神戸と大阪で開かれる

リベカ 井出 信子

2015年11月6日(金)、

「キリストに結ばれて」の働き人として歩むを主題に、アジア教会婦人会議日本委員会(ACWCJ)第29回関西支部一日研修会が、日本キリスト教団神戸栄光教会に於いて開催されました。ACWCJは聖公会を含む7教派が参加する教会女性の国境を越えた活動です。私達の身近にあるリーストコインの交わり運動はACWCJの活動の一つです。この募金は、世界の弱い立場にある女性や子供のための働きに用いられています。この日はマレーシアの教会女性により作成された式文を用いてのDAY礼拝、聖書研究(コリントの信徒への手紙1-3章1-9)、昼休憩を挟んで「心と身体と魂の健康」についての講演会等がありました。出席者は32人(うち聖公会7人)、席上献金は286、

682円でした。

2016年3月4日(金)

には、大阪クリスチャンセンターに於いて世界祈禱日が開催されました。今年はキューバの女性達が式文を作成しま

した。テーマは「子どもを受けきれなさい、そしてわたしをも」。礼拝の中でバの歴史や現状を学びました。また、当番教派の救世軍・太田晴久先生より、「幼子のよう」に、またイエス様に出会ったザアカイのように、私達も

素直で純粋な信仰を持って主にお仕えしたい」とのメッセージがあり、9教派2団体が参加し、出席者は176人(うち聖公会40人)、席上献金は156,950円でした。両日ともお天気に恵まれ、多くの方々と共に祈り賛美できたことに感謝です。(いで のぶこ・西宮聖ペテロ教会信徒)

教会奉仕者の学び(第Ⅴ期)

「新約聖書入門 ヨハネ福音書を読み解く」に参加して

ヴェロニカ 薦田久美子

今までいくつかの講座に参加しましたが、聖公会の司祭様以外が講師をされる講座を受講するのは初めてなので、とても楽しみにしていた一方で、講師は聖書学者であられるという点で「難しい話をされるのではないか?」と少し不安でもありました。

主事・専任講師の前川裕(ゆたか)先生は、初回に時間をかけてヨハネ福音書の概論と背景を説明して下さいました。私にとってヨハネ福音書は表現やたとえが難しく、かなり取っつきにくい雰囲気を持った福音書ですが、初回の全体像の概論がとても興味深く、初めて知ったこともたくさんあり、随分久しぶりに(?)

もたげました。

すぐに解釈に移るのではなく、このように初めに全体を通しての概論や他の福音書との違いなどをまとめて説明をして下さると、予備知識を持って臨むことができ、またその後の章ごとの詳しい説明の時に再度その内容を聞くことがあれば、更に理解しやすくなるのだと実感しました。と言っても、まだまだ分からない

いとこらだらけで、もっと理解するためにこれからも何度も繰り返して学ばなければいけないと思っています。また、ニヤリとしながら話されるシニカルなコメントに吹き出したことも何度かあり、最後まで楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

前川先生、ありがとうございました。

(こもだ くみこ・大阪聖パウロ教会信徒)

大阪教区 手話の会 『つたえて』

定例会：毎月第2火曜日 午後6時半～(8月は休み)

場 所：教区館にて

教会手話に興味のある方  
一度お越しください

問い合わせ：

堺聖テモテ教会

TEL 072-261-2015

主催：大阪教区 宣教部 社会宣教委員会





ヘレナ 斎藤 みち

今年のキッズフェスティバルは、2016年3月21日(月・休)大阪教区・京都教区協働の取り組みとして、京都教区聖アグネス教会を会場として開催されました。参加者は総勢141人。この内、子どもたちの参加は59人(大阪教区26人、京都教区33人)。大阪教区からは10教会、京都教区からは13教会の参加となりました。

テーマは、「レントプログラム」。復活日を前にイエスキリストの十字架までの出来事を知るプログラム。グループ毎に青年リーダーと行動しまし

た。聖書の出来事のお話を担当聖職者から聞き、ゲームやクラフト、身体を動かしたりして遊びました。最後には全員で礼拝をささげ、子どもたち自身もそれぞれの聖書の場面を寸劇にして神さまにお届けしました。

教区の垣根を超えて、子ども同士の関わり、子どもとリーダーの繋がり、そして、大人も含めた様々な人たちとの出会いを通して、イエスキリストの十字架にかかった出来事を分かち合いました。(さいとう みち・石橋聖トマス教会信徒)

### フェスティバルの感想

キッズフェスティバルで楽しかったことは、スタンプです。他のグループの人のスタンプはともおもしろかったです。それにイエスキリストの十字架にかかれた理由もわかったのでよかったです。他にもさかなつりやバーム

## J's キャンプ @大阪・釜ヶ崎



司祭 ヨハネ 古澤 秀利

3月28日(月)から31日(木)までの3泊4日で、今年も春のJ'sキャンプが開催されました。参加者は

中高生9人、青年スタッフ5人。今里のKC C会館に宿泊し、釜ヶ崎を中心にたくさんの方に出会いました。キャンプ初日は釜ヶ崎の歴史について、また日雇い労働と「ホームレス」に

クーヘンなど全部楽しかったです。グループの中で初めて会った人とも最後には仲よくなれたのでよかったです。来年もまたキッズフェスティバルに行ったりキャンプで友だちを増やしたいです。

京都教区 聖アグネス教会 信徒 ドルカス 鈴木 海

ついて田宮紘執事、そして釜ヶ崎で活動されている吉岡基さんから学びました。また「ホームレスと出会うこともたち」(3日目に訪れることも里の夜回りに関するDVD)を通して、野宿者の実際の声を聞きました。初日の学びは中高生にとって衝撃的な出来事だったようです。「自分たちの普段の生活とは全く違う生活を送っている人がいる」という事実を、



どのように受け止めればよいのか、頭を痛める初日でした。2日目は三角公園で炊き出しのお手伝いを、夜は一人一個手作りのおにぎりを持って小さな夜回りを行いました。炊き出しに並ぶおじさん、そして野宿をしているおじさんと短い時間ですが話をすることができました。3日目の午後からは「NPOこどもの里」(西成区児童館)を訪問し、釜ヶ崎の公園で子ども達と思いつき遊びました。時間を共にする中で、子ども達とたくさん話をしたようです。そして元気に遊ぶ子ども達を、公園のフェンス越しに見物するおじさんの姿が。夜回りではこちらから緊張しながら声をかけましたが、子ども達と遊んでいるときは、おじさんたちが声をかけてくれました。

こどもの里の子ども達と、そしておじさん達と一緒に過ごすことで、中高生達に変化が起きたようです。自分と誰かを対比させるのではなく、自分がこれからのように生きるのか、ということに目を向けたのです。

を、夜は一人一個手作りのおにぎりを持って小さな夜回りを行いました。炊き出しに並ぶおじさん、そして野宿をしているおじさんと短い時間ですが話をすることができました。3日目の午後からは「NPOこどもの里」(西成区児童館)を訪問し、釜ヶ崎の公園で子ども達と思いつき遊びました。時間を共にする中で、子ども達とたくさん話をしたようです。そして元気に遊ぶ子ども達を、公園のフェンス越しに見物するおじさんの姿が。夜回りではこちらから緊張しながら声をかけましたが、子ども達と遊んでいるときは、おじさんたちが声をかけてくれました。

た。このことが復活節に起こったのはとても象徴的でした。交わりを通して、中高生は復活の主に出会ったのではないだろうか、そのように感じられてなりません。(ふるさわ ひでとし・高槻聖マリヤ教会牧師)

※次ページ3段目に参加者の感想文



グレース 内海理沙子

2016年2月27日(土)、全国青年会U26(ゆーじろー)が企画した『全国200人鍋』が開催されました。全国々みんなで囲もう繋がり200人鍋とは、全国各地に会場を設け、同日にそれぞれの会場で鍋を囲み、総勢200人以上を目指すという企画です。青年が中心となって準備することで、普段お世話になっている方々への感謝の気持ちを表したいと考え、企画しました。大人も子どもも関係なく世代を超えて鍋を囲む

ことで、繋がりや一体感を感じていただきたいという思いが込められています。さらに、遠く離れた場所にいる方々とも、同じ企画を行うことによって、気持ちを繋げることができると考えました。

大阪教区は京都教区と合同で大津聖マリア教会にて行い、総勢38人の方々が参加してくださいました。全国での総数は170人と惜しくも目標には届きませんでした。世代を超えて和気あいあいと鍋を囲むことができました。開会時と閉会時には心を合わせるために全国で同時に聖歌を歌いました。ただ食事をともにするだけではなく、遠く離れた方々を思いながら一斉に聖歌を歌ったことで、より繋がりを意識することができたと感じます。また、普段は他教区とあまり関わりのない方からも、楽しかったという嬉しい言葉をいただきました。関わってくださった皆様、そして神様に感謝いたします。

また、大阪教区青年会Gグループの活動も活発化してきています。来る4月29日(金・休)には、大阪聖アンデレ教

### J's キャンプ in 釜ヶ崎に参加して

ベテロ 当舎 葵

今回J'sキャンプに参加して一番印象に残っているのは、「炊き出し」です。炊き出しをしている途中から洗ったお箸を拭いているときに「ありがとう」と言ってくれる人が何人かいたので嬉しかった

です。何回も並んでいる方が「いつも炊き出しをしてもらって、本当に感謝している」と、おっしゃっていたので、炊き出しが大切だと思いました。野宿している方と一話ずつとできたのが「炊き出し」だったので、一番印象に残っています。ほかにも夜回りをしているときにおにぎりや渡した「ありがとう」と言ったら「ありがたう」と言ってすぐに食べている人もいたし、ダンボールを毛布として寝て

いる人もいたので、夜回りをした今までぜひたくしすぎたかなと反省しました。今回参加して、何年後かにも今の小学生がJ'sキャンプで、釜ヶ崎のことについて学べたら良いと思います。今回参加できて本当によかったし、このことをほかの人にも知ってほしいと思います。

(とうしゃ あおい・西宮聖ペテロ教会信徒)

会のある昭和町にて、町おこしイベントのお手伝いを行います。そして、7月10日(日)には、聖ルカ教会にて草抜きや東光学園の子どもたちと交流する予定です。さらに、夏には京都教区への出張ワークも予定しています。このように、神様の元で喜びをもって働くことができる機会を与えられていることに感謝いたします。

青年の皆様、交

## 教会信徒のための学び 大阪教区出張講座「歴史編」

### 2016年度前期 参加者募集

日時と内容

— 第2回 —

5月14日(土) 14:00-16:30

「1896年 大阪地方部の確立と20世紀伝道」

— 第3回 —

6月18日(土) 14:00-16:30

「1923年 大阪教区・東京教区の成立」

— 第4回 —

7月16日(土) 14:00-16:30

「教区誕生から第2次世界大戦突入まで」

会場 大阪聖愛教会

講師

西口 忠氏

( 桃山学院史料室特別研究員 )  
( 日本聖公会歴史研究会会長 )

主催 大阪教区宣教部生涯学習委員会・歴史編纂委員会

流を深め、ともに働きませんか。教会の皆様、これからもGグループをよろしくお願

います。(うつみ・りさこ・川口基督教会信徒)



大阪教区英語礼拝

Alleluia! Christ is risen!  
The Lord is risen indeed!  
Alleluia!

英語で充実した礼拝を

司祭 ウイルソン ウォーレン

復活日が、第4主日に当たったのは、5年ぶりのことです。この日の午後は、大阪聖パウロ教会にて32人が集まり、充実したイースター聖餐式となりました。これは、「大阪教区英語礼拝」のことです。元々は、大阪聖パウロ教会が設置した、梅田英語専門学校の学生向け英語礼拝として始まりましたが、2009年に「教区」英語礼拝として運営を移管されました。毎月、第4主日午後4時から20〜30人程の方が集まり、オルガン・チェロ・クラリネット・電子ピアノ等、様々な



楽器の伴奏と共に多様な声が混ざり合っており、神への賛美を表す礼拝です。ポール・トルハースト司祭とウイルソンウォーレン司祭が隔月交替で奉仕をします。陪餐の時には、全員が同時に祭壇の前に並び、陪餐・祝福を受け、最後までその場で待ちます。そして、司式者が陪餐後のお祈りをしてから一斉に会集席に戻ります。英語のレベルに関係なく、日本在留の他国籍の方々や、観光に訪れた方々、海外滞在

「ウイルソン司祭・聖書連続講座」開催!

講座に切り替え実施した。

セバスチャン 岡本 正

日頃からキリスト教や教会に関した各種の講演、講座は開催されていて、何を改めて、

聖書を読むことはクリスト者の基本の基本だ。生涯にわたって、常時縮くべき聖典だ。聖典であるが一種の文学書でもある。単純な計算では、世界一の発行部数の出版物だ。その聖書を読むことは、なかなか大変なことである。好きなどころだけを読めばいいというものではない。

昨年7月の教区の聖職人事

経験のある日本人、英語を学習してきた日本人などが集います。温かい交わりでアットホーム、とても良い雰囲気です。聖餐式のめぐみに与かる礼拝です。

大阪聖パウロ教会で行われている礼拝ではあります。が、「教区」英語礼拝なので、より広く知られ、もっと沢山の皆さまと一緒に英語で礼拝ができますようにと願い、祈っております。

(芦屋聖マルコ教会司牧師)



異動で、ウイルソンウォーレン司祭が大阪聖パウロ教会の副牧師に就任された。当教会はちょうど創立130年の周年であり、早速周年事業の一環として、ウイルソン司祭を講師とした長期の教会講座を企画した。10月からの始まりを考えていたが、年を越えたとところで、ウイルソン司祭の異動が決まり、急遽、1月から3月まで月一回の短期の

というものが、本講座のみそは、ウイルソン司祭にあつた。日本語が堪能、日本人以上の日本食の食通、特有のユーモアとウィットに富んだウイルソン司祭の会話には、つい引き込まれる。日本人司祭にはない魅力がある。兎に角も二つ返事で引き受けて頂いたのは、ウイルソン司祭の大阪教区信徒に対する心意気の表れの一つだ。

内容は「読んでみよう。聖書はおもしろい！」のタイトルで、第一回(創世記、ヨハネによる福音書)、第二回(コリントの信徒への手紙)、第三回(マタイによる福音書・マルコによる福音書)の講話となった。各回90分の熱弁は、聞く人に改めて「聖書」を読むことと共に、「祈り」の大切さに新たな思いを啓発するものであった。(おかもと ただし・大阪聖パウロ教会信徒)





大阪教区（臨時）  
 教区会傍聴と懇談会  
 が3月20日（日）に  
 行われ、京都教区か  
 らは教役者を含め27  
 人の参加がありました。

# OK委員会はいま??

大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会報告

ルシア 山本 友理

り、休憩をはさみ、京都教区との懇談会が開始されました。岩城聰司祭より、経過報告として、1974年からの管区レベルでの合併論議や、両教区での検討の経緯、そして、

15時、大阪教区（臨時）  
 教区会が開始され、主教挨拶に続き、議案

審議が始まり、主な議案は財政関係で全て可決されて、頌栄をもって終了されました。その後、大阪教区の主教から京都教区への歓迎の言葉があ

現在どのような課題に取り組んでいるかの説明がありました。具体的には財政面・主教座聖堂・教区事務所・京都事件があり、ひとつひとつ丁寧に話し合いが重ねられています。ことが報告され、次に、委員会の交流の結果として、プロジェクトを用い、礼拝部と礼拝・音楽委員会が合同で行った『合同礼拝』、教育部と生涯学習委員会が合同で行った青少年の各キャンプの成果が発表されました。続いて、現在委員会で話し合っていることを、資料に基づいて示し、委員会の統合と宣教主事の設置と位置づけ、教役者の合併後の推移予測、ニュースレターの発行準備をしていることを報告し、質疑応答に移りました。

質疑・意見の中で、何故委員会が1年延長されたのか、そしてこの1年の見通しについて、京都事件について、また、合併するメリット・デメリットで考えるのではなく、宣教することを一番に考え、衰退していく教区を前進させるため問題解決に向けて合併

## 尼崎聖ステパノ教会

### エレベーター完成

ペテロ 鈴木 憲二

私たちの尼崎聖ステパノ教会は礼拝堂が2階にあり、足の不自由な方や高齢者の方が階段の上がり下りに不自由をしていた。新牧師館が昨年建設された時も、エレベーター工事もして欲しい希望があり、長年の望みであった。そのような折に一信徒からエレベーター

タリ設置の指定献金の申し出があり、臨時受聖餐者総会の後、2015年11月から工事が開始された。12月に完成し、12月13日には竣工聖別の祈りがヨハネ木村幸夫司祭により捧げられた。

車椅子と3人の方が乗れる広さで、設置後は多くの方に



利用され喜びと感謝の声が届いている。  
 （すずき けんじ・尼崎聖ステパノ教会信徒）

をしてみよう、という意見がありました。

京都事件の経過を藤原健久司祭から説明があり、被害者への直接の謝罪と、被害者の癒やしと回復が、最優先課題であることと応答されました。

委員会任期がなぜ延長されたのかの質問に、合併議案を可決するためには4分の3以上の賛成が必要のため、前教区会時点では具体的な問題に對し納得が得られないと判断し、一層理解を得るためには今後も議論が必要と判断した

と応答されました。

この1年間、強行に進めていくのではなく、納得できる合併のための議論を重ねて進めていきたい。課題としては、教役者間・各常置委員会・両教区の諸委員会の話し合いを深めてもらう。各主教には色々な機会を見つけて説明や懇談の時間を増やすなど、賛同を得られるよう議論を重ねていきます、とありました。

以上、予定をオーバーし、17時半に祈りをもって終了しました。短い時間の中、大阪

教区会の雰囲気を感じる事ができましたが、懇談会では意見が少なく、未消化だったように感じられました。  
 （やまもと ゆり・京都教区八木基督教会信徒）



### 世界の窓

◎インドでキリスト教徒とイスラム教徒がダリット(不可触民)差別に抗議の行進

インドのニューデリーにおいて、キリスト教徒とイスラム教徒が共同でダリット(不可触民)差別を抗議するためのデモ行進を行った。デモの形式は「サイレント・ラリー」と呼ばれる、声を上げない寡黙な行進である。1950年、インド政府はカースト制度におけるダリットへの権利の向上と生活改善のための憲法を制定したが、カースト制度自体を拒否しているという理由でキリスト教徒とイスラム教徒はこれには含まれることがなかった。北インド教会会議書記長のアルワン・マシー氏は、寡黙な抗議活動は「正義を望む」というメッセージを轟音のように送っているのだと強調している。そして、宗教を理由とした差別のない人権を彼らに保障するべきであると語っている。カースト制度外として差別され続けてきた仏教徒やシ

ーク教徒は、法制度の整備によって改善措置がとられたが、キリスト教徒とイスラム教徒は、現在も宗教上の理由から著しい差別を受けている。ちなみに約2,500万人いるインドのキリスト教徒の約70%がダリット出身である。(Anglican Communion News Service: March 10, 2016)

◎聖公会がキプロスで難民の支援活動に従事

クリスティン・ゴールドスマス司祭は、キプロスに施設された難民キャンプを定期的に訪問している。そのキャンプで避難生活をしている、男女約400人の国籍はシリア人、イラク人、パレスチナ人、レバノン人、スーダン人、アフガニスタン人と様々である。そして彼らは、2016年に誕生した新生児を含めた約130人もの乳幼児たちを抱えながら生活している。キプロスの南海岸にある聖バルナバ聖公会のボランテニアメンバーとクリスティン司祭は、でき得る限りの最善を尽くしてキャンプで生活す

る人々を支援している。昨年の12月には、キプロス聖公会が100個以上のプレゼントを贈り、南キプロスにある聖ヨハネ学園の生徒たちが作成した靴箱を、生徒たち自らが現地向かい贈呈した。これは、自分の国も家も何もかも手放して難民となり、キャンプ生活を余儀なくされている彼らへのクリスマスプレゼントであったとクリスティン司祭は語る。また、彼女は彼らへの支援が自らの信仰的行動であって、与える以上の多くをものを難民キャンプに住む人々から受け取っていると述べている。さらに、衣食住の問題に加えて子供たちの教育や大人たちの雇用など、多くの問題が山積しているが、聖公会が協力し合って難民問題に取り組んで行くと強く語っている。

(Anglican Communion News Service: March 25, 2016)

司祭 ヤコブ 松平 功  
(まつだいら いさお・守口 復活教会牧師)

## 日本聖公会大阪教区婦人会 昇天日礼拝

日時 —  
2016年  
5月5日(木・祝) 午前10時30分~ 聖餐式

場所 —  
東豊中聖ミカエル教会

説教 —  
ヤコブ 義平雅夫 司祭  
(大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院中高チャプレン)

献金先 —  
原発と放射能に関する特別問題プロジェクトの働きのため  
「リフレッシュ(保養)プログラム」

昼食後 2016年度 教区婦人会 総会

## 教区の様子

### 常置委員会報告

2月18日(第4回定例会)

#### I. 主教報告

\*井上進次司祭(逝去に伴い、教区挙げて、皆さまの大きなご協力があったことに謝辞があった。

#### II. 協議事項

\*成岡宏晃執事の司祭試験について、主教面接を経て、今秋管区にて試験を受ける方向で進める。

\*教区礼拝の日程 10月2日(日) プール学院清心館にて。

\*台湾聖公会への地震救済支援献金について。2月21日の主日献金に加え、教区緊急災

教区関係教役者  
逝去者記念聖餐式

◇5月11日(水) 午前10時30分  
於:主教座聖堂(川口基督教会)  
説教者 施洗者ヨハネ 山本 眞司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)  
伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)  
司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)  
宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇6月8日(水) 午前10時30分  
於:主教座聖堂(川口基督教会)  
説教者 ヨシュア 原田 光雄司祭

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)  
司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)  
司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)  
司 祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)  
司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)  
司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)  
司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)  
司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)  
伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)  
司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)  
司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)  
司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)  
宣教師 エディス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)  
主 教 横田 道信 (1946.6.29)  
宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)  
司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)  
司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

13頁・3段目(祝受按)  
芦屋聖マルコ教会の一人目  
(誤) アンナ  
(正) ミカエル  
坂田 菜々  
坂田 尊司

12頁・公示(2016年2月18日付)以下を追加  
司祭ダニエル山野上素充(退)  
2016年4月1日付で、  
司祭クリストファー奥村貴充  
のもと聖贖主教会において、  
囑託司祭として主日勤務する  
こと(第3主日)を委嘱する。  
ただし、法規第53条第2項に  
より任期を1年とする。

II. 協議事項  
\*台湾聖公会 李鎮丞(リ・  
チンジョウ) 司祭を大阪教区  
にて4月より3カ月間、人事  
交流として受け入れる。  
I. 金山将司聖職候補生の執  
事志願に関し面接を実施。

3月7日(第5回定例会)  
\*大阪教区 全聖職参加黙想  
会 7月20日(水)〜21日(木)  
売布黙想の家にて開催。  
害支援資金より不足分を支出  
し、50万円を献げる。

聖贖主教会  
○4月29日(金・休) 午前11  
時から午後2時まで「高齢者  
事業はるまつり」を博愛の園  
および向かいの田川東公園で  
開催。バザー、屋台、イベン  
ト、介護相談など。  
問い合わせは06-63301-  
8901(博愛の園)

教会・施設の動き

\*大阪教区教役者会を5月9  
日、聖公会生野センターで開  
催する件。



祝受洗

- 大阪聖愛教会  
アキラ 浅野 俊之  
プリスキラ 浅野 早苗  
(3月27日)
- 東豊中聖ミカエル教会  
ヘレン 二藤寿瑞幸  
(3月27日)
- 高槻聖マリヤ教会  
アリエル 植田さおり  
(4月3日)
- 西宮聖ペテロ教会  
アグネス 北村 怜那



祝受按

- 大阪聖三一教会  
クララ 今中優希美  
サムエル 今中 歩  
(12月6日)
- 東豊中聖ミカエル教会  
ヘレン 二藤寿瑞幸  
(3月27日)

魂の平安を  
祈ります

- 大阪聖三一教会  
ヨハネ 大山 仁躬  
(1月31日・89歳)
- ルツ 能勢 俊子  
(2月29日・91歳)
- 尼崎聖ステパノ教会  
ステパノ 今井 茂  
(2月12日・78歳)

お詫びと訂正  
教区報477号に追加と誤記が  
ありました。謹んでお詫びし  
訂正いたします。